

備前市事務事業評価表

事務事業名	定時制高等学校運営支援事業		コード	担当課係	学校教育課
			03-01-03-04	担当者	三村実
事業実施期間			電話	64-1840	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	未来を支える人材を育むまちづくり			
	小項目	高等学校			
	施策	特色ある学校づくりの推進 個に応じた教育の充実			

事業について	
目的	備前市立片上高等学校の教育活動を援助し、個に応じた教育の充実を図る。
対象 (誰のために)	備前市立片上高等学校の生徒・教職員
内容	教科書給与補助及び教師用教科書・指導書の給付・部活動補助・指導

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
教科書給与費補助対象者数	87	人		
部活動補助金対象部数	4	部		
部活動参加生徒数	33	人		
卒業者数	16	人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	547	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,290	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,837	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.25	人		人
------	------	---	--	---

結果指標①	結果指標名	教科書給与費補助対象者数		
	結果指標量	87		
	単位	人		
	対前年比	—	0.00%	

結果指標②	結果指標名	部活動参加生徒数		
	結果指標量	33		
	単位	人		
	対前年比	—	0.00%	

事業の成果			
成果指標名	卒業生比率 (%)	式又は説明	卒業生数 / 入学者数 × 100
	17年度		
成果指標量	84		
対前年比	—		
到達目標値	90	到達目標年度	平成21年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	生徒の教科書給与の補助金については受益者負担の原則から検討する余地がある。定時制高等学校の教育の根幹に関わる内容でもあるので慎重な検討が必要である。また教師用教科書・指導書の支給については教育効果の面から妥当である。また、部活動の補助金等についても教育振興の観点から妥当であると考えている。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	教科書等は授業に必要なものなので、コストや手段・効率という面からすればなじまない。人件費がかなりのウエイトを占めていることから、事務の簡素化等を図り、人件費の削減に努めていく必要がある。	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	給与した教科書等の使用の頻度で有効性は測れるが、現実にはむずかしい。部活動は活発に行われており、教育推進に効果をあげている。また、学習指導の研修も積極的に行われ、公開授業による相互の授業研究も行っている。
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	この事業は定時制高等学校の教育を支えるものであり、必要不可欠である。しかし、事業の有効性を検証し、事業内容、実施方法等の工夫改善が必要である。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量① 90	結果指標量② 40
目標値	成果指標量 85	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	教科書代を受益者に一定の割合で負担させることも検討に値する。	未定	市の負担額がわずかではあるが軽減できる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。